

6. 情報発信（広報・広告など）

市民サービスの向上および地域の活性化をはかるため、各種媒体を活用した情報発信・広報・広告事業をすすめている。

令和5年度は、令和4年度に続いて「とよなかデジタル・エキスポ」に出展、往来の多いせんちゅうパルの広場で豊中市デジタル図書館のアピールをおこなった。また、広報誌の裏表紙で同サービスのPRを実施したことから、これまで図書館を利用していない層からも反響があった。また久しぶりに図書館の利用を再開するケースも多く見られ大きな利用促進となった。

教育委員会の公式X（旧Twitter）では、各種サービスや行事の発信、新着資料の紹介などを随時おこなっている。「とよなかっ子ライン」（こども支援課）においても、児童・生徒に向けて本の紹介を月1回おこなっている。その他、「はぐくみセンター公式X【ほっぺちゃん通信】」（豊中市立子育て支援センターほっぺ）や、子育て・子育て応援アプリ「とよふぁみ」（こども政策課）でも、行事の情報などを随時発信した。

また以下のメディアに豊中市立図書館に関する記事などが掲載された。

メディア掲載一覧

タイトル・内容等	メディア		種類
記事：大阪府豊中市、「豊中市立図書館みらいプラン」を策定	カレントアウェアネス-R	2023.4	Web
記事：東豊中図書館に飲食スペース「もぐもぐ広場」を新設	PR TIMES	2023.6	
記事：東豊中図書館（大阪府豊中市）、館内に飲食スペースを設置	カレントアウェアネス-R	2023.6	
記事：東豊中町にある「東豊中図書館」に親子で飲食ができるスペース「もぐもぐ広場」ができて／「図書館内で飲食OK?」「本の持ち込みは?」実際に子どもと一緒に行って話を聞いてみた	TNN豊中報道。2	2023.7	
記事：-豊中市-市立図書館で一時保育を開始 岡町図書館・千里図書館・野畑図書館で実施	City Life News	2023.8	
記事：ほっと一息 私の時間 市立図書館で一時保育を開始	PR TIMES 等	2023.8	
記事：豊中市立図書館（大阪府）、図書館で保育士が子どもを預かる「図書館で一時保育～ほっと一息 私の時間～」を開始：2023年9月から	カレントアウェアネス-R	2023.8	
告知：【豊中市】市立図書館で「10歳若返り」展示を開催します！	大阪府「10歳若返り」プロジェクト	2023.10	
告知：「生きるって、なに?～自分らしく生きて、自分を好きになろう!」講演会(庄内図書館)	たかのてるこ公式X	2023.11	
記事：【豊中市】東豊中図書館にある、誰でも利用することができる「もぐもぐ広場」をご存じですか？	号外NET豊中市	2023.11	
記事：豊中市の中央図書館 曽根駅前の民有地に	建通新聞 電子版	2023.11	

記事： ・「豊中市（仮称）中央図書館」の第一優先候補地が曽根駅近くの「曽根東町」周辺に選定されたみたい ・「豊中市（仮称）中央図書館」の第一優先候補地が「曽根東町」周辺に選定されたことで「身近な（その他の）図書館」はどう変わるのか？／豊中市役所 読書振興課の職員さんに話を聞いてきた	TNN豊中報道。2	2023.12	
記事：【豊中市】資料点検のため休館になる図書館があります！	号外NET豊中市	2024.1	
記事：【大阪・豊中市】新築の民間施設内に中央図書館/28年度完成目指す	建設通信新聞 WEB刊	2024.1	Web
記事：-豊中市-阪急豊中駅舎内で本の受け取り・返却が可能に 2月6日から図書サービスポイントを開設	City Life News	2024.1	
記事：阪急豊中駅舎内で本の受け取り・返却が可能に 図書サービスポイントを開設	PR TIMES	2024.1	
記事：阪急豊中駅で本の受け取り・返却が可能に 豊中市、図書サービスポイントを設置 2月6日より	AMP[アンプ]	2024.1	
「もぐもぐ広場」新設と「図書館で一時保育」の開始について	FM千里	2023.9	ラジオ
記事：カタカナの「へ」とひらがなの「へ」の違いどう説明する？ レファレンスの回答事例を紹介(職員が登壇したフォーラムの紹介)	京都新聞	2023.4	
記事：わかりやすく「平和」語る 絵本作家、長谷川さん講演会参加募集 来月9日・豊中	毎日新聞大阪府版・兵庫県版	2023.7	
記事：豊中市図書館一時保育 3施設で月1回乳幼児対象	読売新聞	2023.8	新聞
記事：学校と市の図書を一体的に管理 授業での積極的な活用へ～豊中市	教育家庭新聞	2023.9	
記事：記録を残す⑤（北摂アーカイブスの紹介）	朝日新聞(首都圏・近畿圏・福岡・札幌)	2024.1	
紹介：豊中市庄内さくら学園・豊中市庄内コラボセンター（庄内図書館写真掲載）	新建築	2023.10月号	雑誌
記事：図書館が生まれた	図書館の学校	2023.夏号	
記事：【報告】ショコラ(庄内コラボセンター)でこんなこともやっています！（しょうないおやこでにほんごと図書館展示スペースでのイベントの紹介）	こくりゅうだより	2023.11月号	機関誌・PR誌
告知：ちゃぶ台集会「本とともに語られるライフストーリー～本に関わる仕事人のお話～」(ゲストスピーカー：庄内館長)	tane (たね)	2023年 vol.6	機関誌・PR誌
記事：「赤ちゃんと図書館へ行こう！」(図書館の案内)	まみたん北摂版	2024.3	ミニコミ誌

6・7月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前）、新ステーション「アトリオとねやまこども園前」案内	ふるさと刀根山	2023.6	校区広報誌
10・11月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前）、 「動く図書館 あおぞらおはなし会月間」案内		2023.9	
12・1月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前）、 「動く図書館 あおぞらおはなし会月間」開催報告		2023.12	
3・4月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前）、 「豊中駅図書サービスポイント」開設のお知らせ		2024.3	
「地域の記憶を 地域の記録へ」地域住民と歩む北摂アーカイブスの取組み	図書館とコミュニティアセット	2023.5	図書

7. 職員による出前講座・講師派遣、視察

各種イベントや講座会場など市内外のさまざまな市民参加の場に出向いて、関係機関と連携しながら講座や資料提供をおこなっている。テーマにそった関連資料を紹介・提供し、子どもから大人まですべての世代が読書に親しむ機会や、より広く深く情報を得られる機会となるようつとめている。

令和5度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったことにより、オンラインでの開催とともに、対面での講座や視察の受入も増えた。

出前講座

<子育て中の保護者を対象にした絵本講座>

「子育てサークル・子育てサロン」「千里親子ふれあい広場」
「～えほんのひろば～よみきかせを楽しもう」（とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ）
「みなさくおはなしタイムフォローアップ講座（南桜塚小学校 PTA）」等

<学びの場での子どもの読書に役立つ図書館活用講座>

「新任学校司書研修」「校内研修」「マチカネ先生塾」

<（仮称）中央図書館関連講座>

「（仮称）中央図書館基本構想について」「豊中市立図書館みらいプラン」

各種講座での資料・図書館紹介

「認知症サポーター養成講座」「認知症サポーター養成講座（小学生対象）」「公民館各種講座」等

講師派遣

- ・学校図書館の活用と図書館利用教育（真庭市立中央図書館）
- ・「変わる図書館！コロナ後の最新図書館事例」（New Education Expo）
- ・トークイベント「本とともに語られるライフストーリー～本にかかわる仕事人のお話～」（市民公益活動センター）
- ・講演「デジタルアーカイブの可能性と重要性」（泉大津市立図書館（シーブラ））

視察受入

- ＜視察＞ （ ）は受入施設
- ・ 益田市教育委員会協働のひとづくり推進課：千里図書館サービス全般（千里図書館）
 - ・ 門真市教育委員会：豊中市図書館等、読書活動支援システム（読書振興課）
 - ・ 和歌山県議会：学校図書館における子どもの読書とその影響（学校教育課・読書振興課）
 - ・ 西宮市立図書館：セルフ予約棚、図書館ゲートシステム（千里図書館）
 - ・ 名寄市立図書館・名寄市総合政策課：デジタル化、課題解決、YA サービス、複合施設の活用、夜間開館時の利用状況（岡町、庄内、千里図書館）
 - ・ 大分市議会：図書館で一時保育（岡町図書館）
 - ・ 大阪府教育推進連盟豊能支部：教員支援資料の案内（螢池図書館）
 - ・ 北九州国際交流協会：外国につながる子どもへの読書支援の調査協力等（読書振興課）
 - ・ 青山学院大学准教授 庭井史絵氏：教員支援資料等の調査（庄内図書館・読書振興課） 等
- ＜インターンシップ・実務研修＞
- ・ 大阪芸術大学：図書館実習（千里図書館）
 - ・ 京都橘大学：図書館ボランティア（岡町図書館）

8. 図書館協議会

令和5年度は3回（7、11、3月）開催された。

「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」を推進するなか、市内の外国人市民の増加を踏まえ、豊中市立図書館における多文化サービスのあり方について議論をおこなった。

会議録は図書館 Web サイトで公開している。

令和5年度の委員一覧

名 前	団 体 名・役 職 等
橋 本 真 理	小学校長会代表
道 上 博 行	中学校長会代表
永 富 奈 緒 美	こども園長会代表
樋 口 弘 子	豊中図書館の未来を考える会
天 瀬 恵 子	豊中子ども文庫連絡会
◎ 瀬 戸 口 誠	学識経験者
○ 福 井 佑 介	学識経験者
山 本 晃 輔	学識経験者
中 西 真 弓	市民公募

◎委員長 ○委員長職務代理者

9. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有をはかる仕組みとして、平成20年度から「豊中市立図書館評価システム」（以下、「評価システム」）を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。毎年の評価項目・指標については「豊中市の図書館活動Ⅱ 統計・資料」に簡略化して掲載している。

それまで「評価システム」でおこなっていた進捗管理を「豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン）」（以下、「グランドデザイン」という。）の策定を機に、平成 26 年度からは「グランドデザイン」の進行管理と一体化した。さらに、令和 2 年度は「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」（以下、「基本構想」という。）の策定に際し、「グランドデザイン」の目標設定や進行管理は基本構想に包含する形で継承されることとなった。

令和 5 年度は、「基本構想」の進行管理する 6 つの指標を含んだ「豊中市図書館評価項目表」に成果を反映させた。来館者アンケートに限らず、「基本構想」を推進する上で実施している様々な対象別アンケート調査などから市民の意見・要望を読み取り、現在の図書館サービスの改善と向上に取り組んでいく。

10. とよなかブックプラネット事業

学齢期の子どもたちの多様な読書・学習活動をささえるため、学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備し、相互の連携強化に取り組んでいる。

夏休みに、休館日の図書館（岡町、庄内、千里、野畑図書館）を利用し、学校図書館司書と公共図書館司書が連携して、小学校 4～6 年生の児童が調べ学習の一連の流れを体験する「知的探究合戦 めざせ！図書館の達人」を開催した。その優勝 4 チームの表彰と、市立中学校生徒を対象とした「豊中市ビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会」をあわせて、豊中市立文化芸術センター小ホールで「子ども読書活動フォーラム」を開催し、児童生徒の成果発表の場として、読書活動・学習活動の活性化をはかった。また、学校図書館等読書活動支援システムの一部を更新した。

11. （仮称）中央図書館基本構想

「豊中市（仮称）中央図書館基本構想（以下、「基本構想」という。）」の推進にあたり、令和 5 年度に実施した主な取り組みは以下のとおり。

◆（仮称）中央図書館の第一優先候補地の選定

令和 5 年 3 月「豊中市立図書館みらいプラン（以下、「みらいプラン」という。）」を策定し、公有地と民有地を合わせ 3 か所の候補地を公表した。

それを受け、令和 5 年度は市内に選定委員会を設置。アクセス性や利便性、財政負担、周辺地域等への影響などから評価し、審議をおこない、阪急電鉄宝塚線曽根駅前の民有地を第一優先候補地として選定した。

◆（仮称）中央図書館をつくろうワークショップ

（仮称）中央図書館の整備に向けて、市民の意見やアイデアを参考とするため、ワークショップを実施した。市内の 3 か所を会場に、中央図書館での過ごし方のイメージをふくらませ、必要な機能や諸室間のつながりなどをテーマに自由に意見交換をおこなった。小学生からシニア、子育て世帯、視覚に障害のある人などの参加があり、多様な観点から考えを深める機会となった。

- 参加人数 岡町図書館：21 人
庄内コラボセンター「ショコラ」：11 人
千里文化センター「コラボ」：14 人



◆ その他、市民との関係づくり

取り組みを市民と共有するため「図書館みらい通信」を 12 回発行した。事業の進捗を説明する説明会を 4 回、出前講座を 5 回にわたり実施し、「みらいプラン」の周知に取り組んだ。また、高校生や子育て世帯、障害者グループの協力を得て、中央館の機能や運営に関するアンケート調査をおこなった。